

基本情報

研修名

「仮説立案」実践講座

所要時間

1日（6時間）

受講対象者

若手・中堅社員、Microsoft Excelが使える方（統計の知識不要）

その他

受講者の年代やレベルに対応した内容でカスタマイズ可能

講座の特徴

- 「仮説立案」に困っている、全てのビジネスパーソンが参加できます。特に、自分が立てた仮説に基づいてデータ分析を実施し、結果を上司や経営陣にプレゼンテーションしたり、現場の人たちの行動を変えたりしていく役割の人にお勧めです。
- 「データ分析や問題解決をする“前に”」必要となる思考、すなわち“分析の設計図を作る”ことにフォーカスした、他では受けられないユニークな、でも本質的なプログラムです。

講師紹介

柏木 吉基 氏

データ&ストーリーLLC代表
多摩大学大学院MBA 客員教授
横浜国立大学 非常勤講師
元 日産自動車 ビジネス改革チームマネージャ



慶応義塾大学工学部卒業後、日立製作所入社。米ゴイズエタ・ビジネススクールでMBA（経営学修士）取得。2004年に日産自動車に入社。海外マーケティング&セールス部門、組織開発部ビジネス改革チームマネージャ等を歴任。データを駆使して、「新規ビジネス戦略策定」や「グローバルでの業務プロセスの分析・評価・改善」など多数のプロジェクトをリード。

これらの経験と実績を生かし、2014年10月に「仕事の成果」に直結する実務データ分析トレーナーとして独立。実務家ならではの実践的で分かりやすい講義に定評がある。

『日産で学んだ 世界で活躍するためのデータ分析の教科書』、『データ競争力を上げる上司、下げる上司』（日経BP）ほか著作も多数。日経情報ストラテジーで「間違いだらけのデータ分析」

（2014年4月号～2015年9月号連載）、「マネジャーのためのデータリテラシー講座」（2015年10月号～2016年9月号連載）、「あまのじゃくなロジカルシンキング」（2016年10月号～2017年8月号）、ITpro（現・日経クロステック）で「データ活用に必須の課題分解術」（2017年9月～2018年2月）を執筆。

時間	内容
10:00～ 12:00	1. 良い仮説を立てるってどういうこと？ ・良い仮説とはなにか？ ・課題全体の構造化
13:00～ 17:00	2. 仮説前に押さえておきたい「課題定義」 「正しい問いに答えていますか？」 具体性と論点について 3. “分解”視点の仮説立案 問題の全体像を構造化する 課題を抜けなく、効果的に分解するには 4. データや情報に基づいた仮説のリスクと対策 データドリブンの仮説構築のリスクについて 5. “要因特定”の仮説立案 要因の可能性を洗い出す 視野の広げ方について 6. Q&Aほか

※午前の講義はeラーニングでも提供が可能です。

受講者の声

- ・基礎もなく独学で進めてきた分析に対し、考え方の基礎が知れたので今後の業務に生かせそうです。
- ・研修の初めの方で、まず目的を考える、それから作業をする、とありました。まさに、まず作業をする人だったので、そこから改めたいです。
- ・ロジカルな思考と分析手法について基礎的な点を学ぶことができた。
- ・今後の仕事の質をより上げるために目的を明確に設定し、仮説を立ててみてデータ作成に入るというように手順（思考回路）をシフトさせていきたいと思います。